

手軽に利用できる交通手段の設置

Establishment of easily accessible transportation

TEAM

MEMBER

中辻 基希

目的 Purpose

工大周辺の交通不便を解消し移動を便利にする。

現状・ニーズ Existing State and Needs

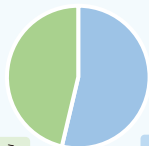


図1 金沢駅周辺へのアクセスが不便だと感じた人

金沢市内へのアクセスが不便だと感じるかというアンケートを実施。
54%の人が金沢市内へのアクセスが悪いと回答した。

不便に感じた理由をまとめると、以下ようになった。

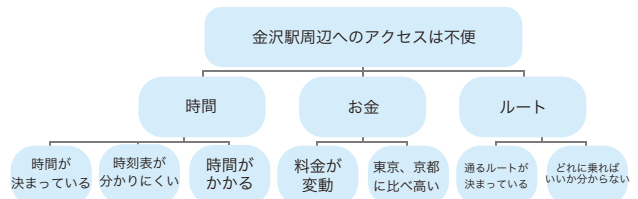


図2 金沢駅周辺へのアクセスが不便だと感じる理由

解決策の検討 Consideration of solutions

既存策のなぜなぜ分析

目的 工大周辺からの交通不便の解消
代表的既存策 琉球大学キャンパスにて新たな交通環境の創造実験
残存問題点 自動車、バスでの移動で大量の二酸化炭素を排出する。

なぜ？
燃料を燃やす必要があるため

なぜ？
動力を得る必要があるため

なぜ？
人や荷物を長距離移動させるため

なぜ？
目的地に移動する手段の不足

真の課題/開発目標
小規模でクリーン、快適な移動手段の設置

図3 なぜなぜ分析結果

解決策 Solution



図4 スマホアプリのイメージ



図5 設置場所案

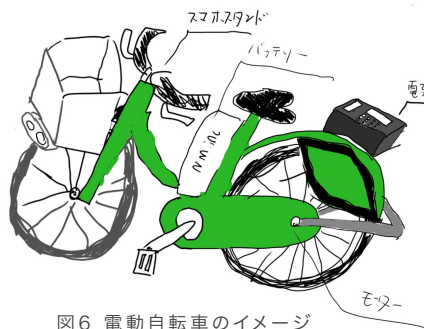


図6 電動自転車のイメージ

金沢市に導入されている「まちなり」

- ・スマホアプリで簡単に利用できる。
- ・金沢市内にポートが多くあるため目的地付近で返却することができる。
- ・電動アシスト機能搭載のため、比較的小さい体力で目的地に移動できる。
- ・好きな時間に出発できる。
- ・周辺のバスと比較しても安価に利用できる。

まとめ Summary

大学敷地内にレンタルサイクルを設置することで、周辺の交通不便を解消することができるだろう。
また、交通不便のために敷地内に設置されていた自転車の減少が考えられる。